2022～2023　会　報　ＲＩ第2720地区

Rotary

The Hitoyoshi Rotary

人吉ロータリークラブ

通算３１６１回
2023年5月26日
第３４回例会

IMAGINE ROTARY

2022～2023年度　ＲＩ会長
ジェニファーE.ジョーンズ

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎㉒2171　例会場　事務局　清流山水花 あゆの里内 ☎㉔6665 ㉔6505

人吉ロータリークラブ ホームページ　フェイスブックページ　[E-mail] hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

2022～2023年度 人吉ロータリークラブテーマ

ロータリーを機会と捉え、その機会により未来を拓く

会　場；人吉球磨自動車会館

本日の例会

- **国歌斉唱・Ｒソング斉唱**
- **会長の時間**
- **幹事報告**
- **出席率報告・会務報告**
- **Ｒ情報委員会　人吉ＲＣ創立記念卓話**
- **地区研修・協議会報告②**
- **寄付カード**

点　鐘　　青木一幸 会長

歌　唱　　ｿﾝｸﾞﾘｰﾀﾞｰ 水野虎彦委員

国 歌　「君が代」
Ｒ Ｓ　「我等の生業」

司会・進行　　ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ　小笠原賢治委員長

会長の時間

会長　青木一幸

皆さん、こんにちは。

今から６６年前の昭和３２年５月２５日、ちょうど昨日になりますが、我が人吉ロータリークラブが熊本県内で２番目のクラブとして創立をされました。やはり２番目の創立という点に、あらためて先人方の偉大さと、そして人吉という地域そのものの持つ歴史性や矜持といったものを再認識したところでもあります。

ロータリー活動も時代とともにいろいろ変化して今日に至っているものと思います。我がクラブもこの６６年の月日を経て、現在の形が出来上がっているわけで、ある意味では活動のエッセンスを凝縮したある種の「型」が出来上がっているのだろうと思います。そしてその「型」に身を置いて活動することで、自然と人吉ロータリークラブにふさわしいロータリアンに仕上がっていくといった面も少なからずあるのではないか、と個人的には思います。先週の福川宮司についても、古から連綿と伝わってきた神事の「型」を日々努める中に、宮司として求められる所作や人格といったものが自然と備わってこられたのかな、との感想を持ったところでした。

勿論、ロータリーに求められる要請は時代とともに変化していくものですので、その活動も常にブラッシュアップしていかなければなりません。その一方で、66年の長きに亘って形づくられてきたクラブの伝統や理念といったものの中には、変えることなく引き続き大事に受け継いでいくべきものも多くあるのだろうと思います。その意味で、本日の片岡会員の記念卓話は、「古きを稽（かんが）える」、すなわち“ロータリー道”というべきものをわれわれが“稽古”する絶好の機会ではないかと思うのです。皆さん、どうぞよろしくお聞きください。

話は変わりますが、６６年前の昭和３２年はどのような年であったか、少し調べてきましたので、少し披露いたします。

まず政治経済面でいえば、石橋湛山内閣が総辞職して、岸信介内閣が成立しています。ちなみに岸首相は、当時、参院内閣委員会が「攻撃的核兵器の保有は違憲」との統一見解を発表している中で、「自衛の範囲ならば核保有も合憲」と発言し大きな問題になっています。しかし、事の良しあしは別にして、そうした発言を時の首相ができたこと自体、現在では考えられないことですので、まさに時代を感じるトピックであります。またこの年に３９歳の若さで田中角栄氏が郵政大臣として初入閣しています。ご存知のとおり、この時に彼は機構改革に大ナタを振る、３９もの民放テレビ局の開設を許可するなど、その行動力から一気にその知名度を高めました。経済面では、この年に政府は新長期経済計画を決定していますが、その時の経済成長率の目標が年率６．５％ということでした。これも今と比較すると、隔世の感を禁じえない数値であります。

世界に目を転じますと、先ほどの岸首相の核保有発

言の背景となったと思われる事象が散見されます。米国が初の原爆の地下実験を実施していますし、英国も初めて水爆実験を行っています。

また、米ソが大陸間弾道弾（ＩＣＢＭ）の実験に成功しており、軍拡の気運が高まった年であるといえると思います。

少しきな臭い話になりましたので、社会文化面に話を移しますと、将棋の升田幸三氏が大山康晴氏を下し第１６期の将棋名人になっています。最後の無頼派棋士ということくらいしか私は知りませんが、ここにおられる先輩方は升田氏の差し筋がどのようなものであったご存知の方もいらっしゃるかと思います。また、その年は第５回カナダ杯国際ゴルフ大会が霞が関ＣＣで開催され、日本は団体で、個人では中村寅吉氏が初優勝を果たしています。升田氏、中村氏の名前を聞くと、ここでもやはり６６年という月日の経過を感じるわけであります。

その他、その年の世相をいくつかご紹介しますと、ダークダックスが結成初演奏、近鉄が国内発の冷房特急の運行、５０００円札の発行、東京都の人口が８５１万８６２２人で世界一になるなど、ところどころに高度経済成長の流れを受け継いでいる状況が垣間見えます。

今日はクラブ創立の年の世情をいくつかピックアップしてご紹介をしました。当然のことながら私の生まれる前のことで、随分と昔のことだなと思いますし、繰り返しになりますが、人吉ロータリークラブは古く歴史のあるクラブなんだなとの想いが益々強くなりました。

以上、雑駁な話になりましたが、これで会長の時間を終わり、メインの片岡会員の卓話に移りたいと思います。ご清聴、有難うございました。

幹事報告

幹事　加登住 亮

≪連絡事項≫

・日田ＲＣ創立60周年記念式典のご案内
　日時：令和5年10月22日(日)
　　式典16時～祝賀会18時～
　　場所：マリエールオークパイン日田
・例会変更お知らせ　熊本西RC、熊本南RC（回覧）

出席率報告

委員長　平山　修

現　会　員　数	48名	出席免除会員数	1名
出席義務会員数	47名	本日の出席率	
欠　席　者　数	18名	61.70%	
出　席　者　数	29名		
免除会員出席数	0名	ZOOM(-)　会場(29)	

【Ｒ情報委員会】

人吉ロータリークラブ創立記念卓話

Ｒ情報委員　片岡啓一
ロータリー歴４０年
職業分類　薬剤師

人吉ＲＣ創立当時の活動について

私の入会は創立２６年目 増田力会長の時でした。そのため、創立当時の活動はほとんど知りません。そのため、人吉RC５０周年記念誌をめくりめくり、初代から辿ってみました。

人吉ＲＣの創立年度は昭和３２年１９５７年　その年　会員６名の有志の方々が　人吉クラブ結成の方針、会員２０名の目標、会員勧誘の方法などを打ち合わせました。

熊本県下には熊本クラブだけでしたので、熊本クラブにスポンサークラブになっていただき、熊本クラブの吉村常助氏、高島昂三氏などにご指導をいただき、設立の準備を進めました。そして６月には異例の速さでRI本部より正式に承認が下りました。

初年度　２年度
神戸政郎会長（球磨川林業）
チャーターナイトは一中講堂
参加者は２４０名

当時の地区は、九州全域と広島県までを３７０地区としていたので、当時の役員は地区大会や地区協議会に出向くのに、長崎、福岡、広島など、高速道路も新幹線もない頃ですから大変だったことでしょう。

３年度
堤 貞夫会長（堤病院院長）
人吉高校　学生への奨学金　１０名

４年度
釜田元次郎会長（釜田醸造所）
年末助け合い運動へ
衣類、雑誌、餅などを養老院へ寄贈
ロータリー奨学金　支給規定を制定
１）奨学生の選定は高校に一任
２）選定の目標は　家庭貧困　成績優秀　心身健全
３）一人当たり月１０００円を支給　人員は１０名

昭和３５年頃のサラリーマンの初任給１３８００円
フランク永井のヒット曲　『13800円』が流行った

５年度
松田唯次会長
親睦委員会　活動ロータリー
毎月第１土曜日　囲碁の会
毎月第２土曜日　将棋の会
毎月第３土曜日　ゴルフ会

６年度
山口 宏会長（山口外科医院）
ロータリー奨学金制度廃止
高校へ図書の贈呈
優良従業員表彰８名
勤労中学卒業生表彰９名
人吉高校より現役で初めて東大に合格した岡崎裕士君へお祝いとして独語辞典を贈呈

７年度　鳥越治雄会長

８年度　泉万次郎会長

９年度青木龍太郎会長
（現青木会長の祖父）

７月２日集中豪雨　市内大部分浸水。会員宅の半分以上が浸水被害。
次年度１０周年記念行事の準備が始まる。

１０年度
堤　治助会長
「会員の栞」発発刊
１０周年記念事業
人吉駅前　時計塔建設決定
多良木ロータリークラブ設立準備始まる
交通安全のための「黄色いハンカチ」を市内小学校新入学児童に配布　５７５枚寄贈
５月２８日１０周年記念式典　盛大に厳粛に開催

【次年度】
国際ロータリー第２７２０地区
地区研修・協議会報告 2023年5月14日(日)

会員増強拡大部会報告

次年度会員増強担当理事
塚本哲也

例年言われているように各RCにとって会員増強は必要不可欠です。そして同じように会員維持（退会防止）も大切です。クラブ内で情報を共有して次期会長を中心として会員全員で話し合い、方針と目標を設定することが大事とのことを伝えられました。

次年度の会員増強の目標は2720地区に因んで2720名に届かせたい（現在2361名なのであと359名の増員）、女性会員の比率を30％以上に、それからMy Rotaryの登録率を70％も挙げられました。

出前セミナー担当からは「私はロータリーに誘われた際、時間もお金も余裕がなく、その器もないと思っていたのに、３年間誘い続けてくださった熱意とお近づきになりたい方が会員さんにおられたので入会しました」とご自身の話をされました。ロータリーは思ったより楽しく、会員同士で個性多様性を認め合う雰囲気がすばらしい、仲間もたくさん出来て楽しい、と言われていたのが印象的でした。話を聞いて思ったのは、入会候補者を出来るだけ多くの会員で共有し、熱意を持って、長い時間をかけてでも誘い続けていくということでした。

その他には衛星クラブ設立についての話もありました。クラブ設立のための20名が集まらない場合は８名の会員で結成が可能で、同好会型、目的型、独立型、二世同族型、軽減型の５つのグループに分けられ、地元のＲＣがスポンサーとなり助言や支援を行っていきますが、最終的にはスポンサークラブへの入会を意識していくことが大事と言われました。

職業奉仕部会報告

次年度職業奉仕委員長
葉山稔洋
代読　中川貴夫

地区研修協議会に13日から１泊２日で参加して来ました。初日はあいにくの雨で足元の悪い中、古き良き豆田商店街を散策し、下駄を購入しその後はヘロヘロになる程でした。酒蔵で試飲を４種類、昼食時にビールとワインその後下町のナポレオン事「いいちこ」で結構な種類の麦焼酎を試飲し、最後にサッポロビール園で３種の飲み比べ、一休みして屋形船でまたまたほろ酔い気分に、

さて、研修当日は、全体会から分科会へ移動し、中川先輩から一番前に座ろうと誘われ、こらぁ困ったなぁと思いながら弁当を食べたら睡魔に襲われ良い気分になりかけたのですが、中川先輩が、研修会の進行をされる為に、席を移動されたのでこれ幸いと思いきや今度は、前田パストガバナーが、隣の席に座られ、お陰様で眠気が一気に醒めてしまい真面目に受講して参りました。

今年度木下部門長(熊本RC)が最初に我がクラブにも出前セミナーをして頂いた物と同じ事をされたので割愛します。

次に、次年度職業奉仕部門長の古田(熊本東南RC)さ

んが、自クラブでは「４つのテスト」ここ５年位やってませんが｛1.真実かどうか　2.みんなに公平か　3.行為と友情を深めるか　4.みんなのためになるかどうか｝で、例えば「弁護士事務所の役員でもない奥さんが使用したタクシーの領収書の事」を「これは真実かどうか」と弁護士らしからぬ口調で熱く語られ穏やかな口調の木下部門長と対照的でお二人ともにロータリー創設期の重要人物の事を語られ興味深く寝る暇がありませんでした。

最後に講評を前田パストガバナーがされ、
1.職場訪問　2.優良職員表彰　3. 職業奉仕に関する卓話　4.職業分類された中で各々入会しているが、本業以外の業務の話を聞く
こんな事を各クラブで是非やって下さい。と締めくくられました。

その後バスに乗り込む迄の道中で、人吉RCではどんな事やってるとか質問されましたが、４つの内 1.2.3はやってますよと堂々と話せたのも自クラブがいかに真面目に取り組んでいるか。いつもこの研修協議会に参加して思う事であります。

本会場への移動のバスの中で、中川先輩と前田パストGを交え膝カックンの話で盛り上がり　あっと言う間に本会場に着き、降りる時には、資料や真面目にメモった物をバスの中に全て忘れた次第で、よく飲んだ２日間でした。

最後に、ロータリーの金看板である
「もっとも奉仕するもの　もっとも報いられる」
を胸に刻み社業にロータリー活動に邁進してまいりたいと思っております。

社会奉仕部会報告

次年度社会奉仕委員長
新堀純子

社会奉仕部門の役割について
・クラブの奉仕活動を主導し、地元の地域社会の人々を援助する。
・教育的、人道的プロジェクトの計画と実施を支援する。
・プロジェクトのライフサイクルに沿って、ロータリーのオンラインツールを活用して活動の計画・実施・評価を行うよう、クラブに奨励する。
・地区補助金プロジェクトの活用事例の紹介を行う。
今回、委員として人吉ＲＣチャレンジカップ事業の紹介をしました。

青少年奉仕部会報告

次年度青少年奉仕委員長
竹長一幸

青少年奉仕部門の中には4つの委員会があり、それぞれの活動内容について報告がありました。
①青少年交換委員会では、この制度を利用して2020年にカナダへ留学した別府の女子高校生本人が登壇してホームステイでの体験談が発表されました。
②RYLA委員会では、参加者を募集する為のＰＲ動画が流されました。その動画の中で人吉ローターアクト卒業生の久保山さんが出演していました。
RYLAの研修はコロナ過の３年間は実施できていませんでしたが、今年度は先週の５月19日から21日までの3日間、天草の御所浦で行われました。化石の採掘や、船釣りの体験をされたそうです。
③インターアクト委員会では、杵築ロータリークラブが提唱して杵築高校に設立したインターアクトクラブの活動内容について報告がありました。
ウクライナの難民に向けての募金活動の様子が紹介されました。
④ローターアクト委員会では、ロータアクト地区代表の向井さんから活動内容についての報告がありました。
現在、2720地区のローターアクトクラブは熊本に9クラブ、大分に６クラブあり、会員数は90名だそうです。
コロナ以降、会員数が減少しており、新会員の入会に力を入れて欲しいという事でした。
以上、４つの委員会の発表が終わった後、最後に2021年のガバナーの硯川パストガバナーより講評があり、終了となりました。

Ｒ財団部会報告

委員長代理　鳥井正徳会員

増田委員長の代理として出席いたしました。事務局の緒方さんも同席頂きました。

林明部門長を中心にして、R財団の活動方針、活動計画、等が約２時間にわたり説明がありましたが、結論として「寄付をお願いします」ということに尽きたと思います。寄付、寄付、そして寄付ということばでいっぱいでした。
・財団の目標を達成するためには、１人当たり年次基金150ドル以上がぜひ必要である、御協力をということです。我人吉ロータリーは現在のところ120ドルくらいだと思います。それに特別寄付もかなり有りますので合わせますと年間55万円位になると思いますし、相当頑張っていると思います。それに地区補助金の活用も（チャレンジカップ）も行っていますし、R財団への協力は上位にあると思います。
・Ｒ財団は「世界の人々の健康状態を改善し、質の高い教育機関を提供し、環境保全、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるよう支援する」ことを目的としていますし、現今の世界の状況から考えるとポリオを含め益々その重要性は増すと考えられます。

【寄付カード】

〈ニコニコ箱委員会〉
・**堤会員**　繊月まつりが盛大に終了しました。協力いただいた方々にお礼を申し上げます。
・**増田会員**　地区研修･協議会欠席、例会欠席すみません。鳥井パスト会長お世話になりました。
・**加登住幹事**　片岡パスト会長、卓話をして頂きありがとうございました。大変興味深い話を聞けて良かったです。

点 鐘　　青木一幸 会長